

市長コラム

ワイド版 第91回

安芸高田市の教訓三矢の訓

「毛利元就が臨終の床で、長男 毛利隆元、次男 吉川元春、三男・小早川隆景の三人の息子を枕元に呼び寄せて、矢を一本ずつ与えて「折つてみよ」と命じ、息子達は難なくこれを折った。今度は三本の矢を束にして、また「折つてみよ」と命じたところ、息子達は誰も折ることは出来なかった。元就は一本では脆い矢も束にすれば頑丈になる事を示し、毛利家も三兄弟が結束すれば、他国から攻められることはない、三人の息子に諭した。」

この最も有名な逸話「三矢の訓」が史実であるかどうかは、昔から様々な意見があり真偽は不明です。しかし、元就が三人の息子に宛てて書いた長文の書状「三子教訓状」(毛利家文書)が元になったともいわれています。ここで元就は三人の息子に繰り返し兄弟の結束を諭しています。そして実際にこの三兄弟は結束し、戦乱の時代に毛利の屋台骨となったのです。元就が実際に矢を折らせたかはさておき、私はこの「三矢の訓」は後世に残る毛利家の素晴らしい家訓であると思っています。

安芸高田市では、「三矢の訓」に因んで各部において事業の展開をしております。教育委員会では、「自立・協働・創造」、「徳・体」、「学校の宝・家庭の宝・地域の宝」と、それぞれ三つのキーワードを掲げた基本目標のもと、みやや協育(安芸高田協育を推進、福祉保健部では、市民総ヘルパー構想に基づく健康づくりの推進、市民一人ひとりの健康づくりの推進、生活習慣病の発生予防・重症化予防の三矢を掲げ、健康あきたかた21を推進しています。建設部では、子育て婚活住宅の団地購入・新築・リフォームの三矢の住宅政策、産業

振興部では、JA広島北部と連携し、三矢御膳・三矢えびす茶・三矢そばの特産品の開発を行っています。また、安芸高田市のマスコットキャラクター「たかたん」は三本の矢を肩に背負い市のPR活動をしています。

昨年素晴らしい活躍で全国制覇をした、サンフレッチェ広島はイタリア語で矢を意味し、「三矢の訓」にちなんだものである事は言うまでもなく、毛利元就の三矢の訓が縁でサンフレッチェ広島のマザータウンとして、安芸高田市の活性化に寄与して頂いております。

安倍首相はアベノミクスの経済対策として「三本の矢」を掲げ、①大胆な経済政策、②機動的な財政政策、③民間投資を喚起する成長戦略を基本方針として、経済対策を講じられました。安倍首相は山口県出身で、毛利家とは大変ゆかりがあります。3年前首相官邸を訪問し、清神社で折った三本の矢を贈呈し、日本の経済復興を祈念したことは、記憶に新しいことでもあります。

湯崎広島県知事は、県庁の仕事を進捗するための基礎となる3つの視座 ①県民起点、②現場主義、③予算志向から成果志向への転換を提案されました。

安芸高田市(長男 毛利隆元、北広島町(男・吉川元春)、三原市(三男・小早川隆景)は毛利家三兄弟を縁として、広島県知事毛利元就の立会各町町の観光事業を推進するため、「三矢の訓」の協定を結び事となりました。この度の協定により、更なる連携を深め、市町の発展に寄与出来るものと確信をしております。安芸高田市市長・北広島町長・三原市長・広島県知事の甲冑を着ての調印式は見た覚えのあるものになると思っております。いずれにしても、「三矢の訓」は安芸高田市の教訓であり、昨年策定した市民憲章にも、「三矢の訓」で心を一つに「協働のまちづくり」にはげますと掲げています。今後のまちづくりの基本理念とし、市民が結束して安芸高田市を構築していきたいと思っております。

安芸高田消防

安芸高田市消防本部 安芸高田消防署
TEL 42-0931 FAX 47-1191
HP <http://www.akitakata.jp/ja/shisei/section/119/>



春の火災予防運動がはじまります

毎年、3月1日から7日までの一週間は春の全国火災予防運動の期間です。これから春に向けて空気が乾燥し、火災が発生しやすい時期になります。



平成27年の火災件数は前年に比べ13件多く、大変残念なことに死者、負傷者も発生しております。注意報や警報に十分注意し、空気が特に乾燥している日や、風の強い時にはたき火などを行わない

地震に備える

平成23年3月11日に発生した東日本大震災を筆頭に全国各地で地震が発生しており、また南海トラフを震源とする巨大地震がいつ起きてもおかしくない状況にあります。

地震が発生した際は、ひとりひとりが慌てずに適切な行動をとることが極めて重要です。そのためには、みなさんが地震について関心を持ち、いざというときに落ちついて行動できるように日頃から地震が発生した際の正しい心構えを身につけておくことが大切です。

1. 緊急地震速報とは

地震が発生すると、震源からは揺れが波となって地面を伝わっていきます(地震波)。地震波にはP波とS波があり、P波の方がS波より速く伝わる性質があります。一方、強い揺れによる被害をもたらすのは主に後から伝わってくるS波です。このため、地震波の伝わる速度の差を利用して、先に伝わるP波を検知した段階で最大震度5弱以上と予想される場合に緊急地震速報が発表されます。

2. 非常持出品を準備する

地震の被害によっては、避難を余儀なくされることもあります。避難する時にすぐに必要なものを持ち出せるように「非常持出品」を準備しておきましょう。



3. 家族との連絡方法の確認

家族が離ればなれで被災した場合、自分の身の安全が確保できたら、次は家族の安全を確認しましょう。被災地では携帯電話も通じないことがあり、連絡手段が限られていますので、公衆電話等から利用できるNTTの「災害伝言ダイヤル171」や携帯電話の「災害用伝言板」などのサービスがあるので活用方法を知っておきましょう。

4. 家具の転倒を防止する

タンスや棚はL型金具などで壁の棧や柱に固定しましょう。引き出しや観音開きの扉にはストッパーなどを取り付け、中身が飛び出さないようにしておきましょう。扉がガラスの場合はガラス飛散防止フィルムを貼っておきましょう。

減らそう犯罪 お家に眠っていませんか!

皆様のご家族が軍隊等に従軍された際、けん銃や軍刀を持ち帰られ、未だに蔵や倉庫に保管されているお宅はありませんか。また、蔵や倉庫の整理をした際にけん銃や軍刀を発見したが、「ようわからん」と思い、そのままほっとかかれてはいませんか。けん銃や軍刀を所持していると違法となりますので、速やかに警察署または市役所にご相談ください。

安芸高田警察署 ☎47-0110 市役所危機管理課 ☎42-5625

安芸高田警察署交通ミニコーナー

H28.1末現在 ●平成28年交通事故発生状況(年間累計) 安芸高田警察署管内

区分	平成28年	平成27年	前年同期比増減数
人身事故	4件	4件	±0件
死者数	0人	0人	±0人
負傷者数	5人	6人	-1人

管内の交通事故(1月中)

- ・脇見による追突事故 2件
- ・普通車と自転車による出会い頭事故 1件
- ・歩行者と普通車による衝突事故 1件

夕暮れ時・夜間における交通事故防止

夕暮れ時や夜間の交通事故が多発しています。

- ・ドライバーの方へ
周囲が見えにくい夕暮れや夜間は、速度を抑えて上向きライトに努めましょう。
- ・歩行者の方へ
夜間に外出される際は、明るい服を着用し、必ず反射材を付けましょう。

～平成28年広島県交通安全スローガン～
「こんばんは 早めのライトで、ごあいさつ」